

埼事研第 77 号
平成27年9月1日

関係市町村教育委員会教育長
関係市町村立小・中・特別支援学校長
教 育 関 係 者 } 様

埼玉県公立小中学校事務職員研究協議会
会 長 倉 林 昌 子

50周年記念第47回埼玉県学校事務研究大会開催について（依頼）

このことについて、下記のとおり埼玉県学校事務研究大会を開催いたします。

つきましては、この研究大会を盛大かつ実りあるものになりたいと存じますので、公務ご多用の折とは存じますが、貴校学校事務職員の参加について格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 大会テーマ 「CHANGE（変化）をCHANCE（機会）に！ 学校事務の充実は、学びの充実」
～ 学 校 評 価 ～
- 2 目 的 子どもたちの豊かな育ちを支援するために、教職員・関係諸機関・地域と協働する学校事務の研究を通して、学校教育の充実及び発展に寄与する。
- 3 共 催 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会
- 4 期 日 平成27年10月27日(火) 9時45分～16時40分
- 5 会 場 川口総合文化センターリリア 音楽ホール
〒332-0015 川口市川口3-1-1
TEL 048-258-2000 JR川口駅 西口正面 徒歩1分
- 6 日 程
 - (1) 受付 9時45分～10時00分
 - (2) 開会式 10時00分～10時30分
 - (3) 記念講演 10時40分～12時10分
 - (4) 昼食 12時10分～13時10分
 - (5) 研究発表（情報・山形大会） 13時10分～13時45分
 - (6) 研究発表（学校評価） 13時45分～14時25分
 - (7) 記念シンポジウム 14時40分～16時40分

7 内 容

(1) 50周年記念講演

演 題 「想像力とコミュニケーション～人へのモノの伝え方」
講 師 落語家 三遊亭 楽生 師匠

(2) 研究発表

埼玉研本部研究担当

- ① 情報に関する研究 まとめ
- ② 全事研山形大会 中間報告
- ③ 学校評価を活かした学校事務機能強化
—高めよう！ チーム力！—

(3) 50周年記念シンポジウム

テーマ 「彩の国学校事務 NEXT! ～次世代の学校事務を考える～」
シンポジスト 未 定

8 参加者 埼玉県公立小・中・特別支援学校事務職員
さいたま市立小・中・特別支援学校事務職員

9 注意事項

- (1) 当日、別紙「参加票」を受付時間（9：45～10：00）に提出してください。
- (2) 昼食の斡旋は行いません。各自でお願いいたします。また、昼食会場の用意はございません。
- (3) 研究集録は、事前配布いたしますので、当日必ずご持参ください。
- (4) **公共交通機関をご利用ください。**

* 研究大会準備委員は、準備のため8時45分にご集合ください。

*この研究大会は教小第303号(平成27年8月25日付)埼玉県教育委員会共催承認済です。

*この研究大会は教学教職第2696号(平成27年8月31日付)さいたま市教育委員会共催承認済です。

【川口総合文化センター

リリア案内図】



第47回 埼玉県学校事務研究大会参加申込書（県外）

氏 名	
都 道 府 県 名	
所 属 所 名	
職 名 ・ 役 職 名 等	
連 絡 先 電 話 番 号	
自 由 記 述 欄	

事前に、下記宛てにFAX又はEメールにてお申し込みください。

当日、受付にて集録代（1,000円）をお支払ってください。

申込先： FAX 048-571-7120
Eメールアドレス knishi-s@city.fukaya.saitama.jp
埼玉事研 総務担当常任
深谷市立上柴西小学校 小久保 宛て

50周年記念(第47回)埼玉県学校事務研究大会

大会テーマ 「CHANGE(変化)をCHANCE(機会)に!

学校事務の充実は、学びの充実」

～ 学校評価 ～

埼玉事研は、平成26年度より第三次研究中期計画を策定し、研究を推進しています。

研究テーマであり、大会テーマでもある「CHANGE(変化)をCHANCE(機会)に!学校事務の充実は、学びの充実」は、学校を取り巻く様々な変化や課題をどのように好機として捉えていくか、また、学校の事務を充実させることで、学校教育の充実・発展に寄与し、未来を担う子どもたちの豊かな育ちへとつなげていこうではないかと考え設定しています。

今年度の年次別課題は、「学校評価」です。現在、多様化、複雑化してきている保護者・地域のニーズに対応するべく、学校に求められる役割は増大しています。学校評価は、学校運営改善のための手段であるだけでなく、その活動を通して、教職員間の連携や、保護者・地域から信頼される学校づくり、関係機関との連携や協働にもつながるものと考えます。その評価システムを学校事務職員も活用していくことで、より一層学校事務機能は充実し、ひいては子どもたちの学びの充実へとつながっていくと考えられます。

本会は今年度50周年という節目の年を迎えました。「埼玉県学校事務のグランドデザイン～彩の国コバトンプラン～」も策定され、基本理念・目標・目指す事務職員像を示すことで、事務職員を目指すべき方向性が明確になり、学校事務全体の質の向上につながると考えます。研究大会では、学校事務機能のあり方や学校事務職員の役割を通して、学校事務職員全体の将来について会員の皆さんとともに考えたいと思います。皆様のご協力をお願いします。

50周年記念講演

講師 落語家 三遊亭 楽生 師匠

演題 「想像力とコミュニケーション～人へのモノの伝え方」

研究発表 1～3

第三次研究中期計画2年次の課題である学校評価についての研究発表をメインに、平成25、26年度に行った情報に関する調査のまとめ、平成28年に埼玉事研が研究発表を行う全国公立小中学校事務研究大会山形大会に向けた研究の進捗状況についての報告を行います。

50周年記念シンポジウム

彩の国学校事務NEXT!～次世代の学校事務を考える～をテーマに様々なお立場の方からご意見をいただきながら学校事務と学校事務職員の将来像を展望します。

***** 研究発表 1 *****

学校情報に関する調査まとめ

— 信頼される開かれた学校づくりのために —

埼玉事研は、平成25年度から26年度にかけて、駿河台大学メディア情報学部野村正弘教授のご指導の下、「学校情報に係る調査（学校長対象）」、「学校情報に係る調査（保護者対象）」という二つの調査を行いました。今回はこれらの調査の総括について報告します。

***** 研究発表 2 *****

彩の国 学校事務NEXT！

— 地域との協働による学校づくりと事務職員の役割 —

埼玉事研は、平成28年8月に全国公立小中学校学校事務研究大会山形大会で分科会を担当します。本部内に山形大会に向けたプロジェクトチームを立ち上げ、これまでの埼玉事研の研究を踏まえながら、第三次研究中期計画および「埼玉県学校事務のグランドデザイン～彩の国コバトンプラン」に基づき、山形大会の課題である「学校ガバナンス」について、地域との協働による学校づくりの観点から研究を進め、次世代を担う事務職員の姿を明らかにしたいと考えています。

本報告では、研究の概要および関係資料の一部を提示し、研究の進捗状況を報告します。

***** 研究発表 3 *****

学校評価を活かした学校事務機能強化

— 高めようチーム力 —

学校を取り巻く様々な課題を解決するために、学校のマネジメント体制を強化し、チームとしての教育力・組織力を発揮することが求められています。学校事務職員も専門性を高め、チームの一員として活躍することに期待されているところです。また、多様化・複雑化した保護者や地域のニーズに対応するため、学校に求められる役割は増大しています。そして、平成27年6月に成立した小中一貫校の制度化を含む改正学校教育法により、小・中連携が深まり、9年間を見通したカリキュラムの編成、それに基づき行う系統的な教育も一層行われるようになると考えられます。

本研究では、学校評価の現状を分析し、効果的な学校評価とはどのようなものか検証します。さらに、学校評価を生かした学校運営の改善、発展のための学校事務機能のあり方について追究し、チームの一員として力を発揮する事務職員の姿を提案します。